

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月04日

計画の名称	市川市における安全・安心で快適な魅力あるまちの実現（防災・安全）(重点計画)												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	市川市												
計画の目標	浸水対策事業および地震対策を重点的にを行い、安全で安心して暮らせる快適な魅力あるまちを実現し、質の高い都市基盤整備を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,355	A	3,343	B	0	C	12	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.35	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	整備優先区域における雨水管渠の整備率を9.5%から15%に増加させる。 整備優先区域における雨水管渠の整備率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	10%	15%	15%
2	下水道管路耐震化工事実施延長を16.4kmにする。 下水道管路耐震化工事実施率 特に重要な管路の耐震化工事実施延長（16.4km） / 特に重要な管路の耐震化工事予定延長（22.2km）	0%	37%	74%
3	全ての下水道施設（雨水ポンプ場、合流ポンプ場及び処理場）について耐水化計画を策定する。 下水道施設の耐水化計画策定率 計画策定済み施設数 / 下水道施設数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	市川市	直接	市川市	管渠(雨水)	新設	高谷・田尻排水区雨水管渠整備事業(浸水対策)	L=0.1km	市川市						110	-	
	A07-002	下水道	一般	市川市	直接	市川市	管渠(雨水)	新設	高谷・田尻排水区雨水管渠整備事業(浸水対策)	L=1.0km	市川市						30	-	
	A07-003	下水道	一般	市川市	直接	市川市	管渠(雨水)	新設	市川南排水区雨水管渠整備事業(浸水対策)	L=3.4km	市川市						1,561	-	
	A07-004	下水道	一般	市川市	直接	市川市	ポンプ場	新設	市川南ポンプ場建設事業(浸水対策)	ポンプ場 10m3/s、流入幹線 L=0.6km、排水樋管	市川市						980	-	
	A07-005	下水道	一般	市川市	直接	市川市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策事業(地震対策)	管渠地震対策	市川市						620	策定済	
	下水道総合地震対策事業																		
	A07-006	下水道	一般	市川市	直接	市川市	ポンプ場	改築	施設耐水化事業	耐水化計画策定業務 市全域	市川市						42	-	
												小計						3,343	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						3,343		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	市川市	直接	市川市	管渠（ 汚水）	改築	マンホールトイレ整備に 係る資機材等の整備	台座、パネル等の整備	市川市						12		策定済
		マンホールトイレ設置に合わせて、資機材等を一体的に整備することにより、避難所における地震対策効果の向上を図る。																	
											小計						12		
											合計						12		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	R1	R2
配分額 (a)	492.500	582.500	441.750
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	4.300	0.000
交付額 (c=a+b)	492.500	586.800	441.750
前年度からの繰越額 (d)	0.000	296.200	328.100
支払済額 (e)	196.300	554.900	463.259
翌年度繰越額 (f)	296.200	328.100	306.591
うち未契約繰越額 (g)	101.500	0.000	49.750
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	20.6%	0.0%	6.5%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	工事着手箇所を選定に不測の期間を要したため。	-	工事着手箇所を選定に不測の期間を要したため。

計画の名称	市川市における安全・安心で快適な魅力あるまちの実現（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成32年度（3年間）	交付対象	市川市

市川市整備計画図

